

事業名	家畜病性鑑定事業費			調書番号	89
細事業名	動物用医薬品危機管理対策事業費	財務コード	457803		
担当部課室	農政 部 畜産 課 安全衛生 担当 (内線)	5266			

I 事業の概要

実施期間	始期 H12 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(直営)		
目的	だれ(何)を対象に 畜産農家、家畜由来の細菌	その対象をどのような状態にして 医薬品を適正に使用することによって、薬剤耐性菌の発現を抑制できる。	結果、何に結びつけるのか 畜産物の安全確保 食の安全・安心
	内容 ○薬剤耐性菌の検査 ・細菌検査材料の採材及び薬剤使用実態調査 ・細菌分離及び薬剤感受性試験 ○動物用医薬品危機管理対策研修会への参加		

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
活動指標	①薬剤使用実態調査数	①35件	①35件	①35件	①35件	①35件	①35件	①35件
	②薬剤耐性菌検査実施率	②-	②-	②-	②100%	②100%	②100%	②100%
	※達成率については①、②の平均値	①35件 ②-	①42件 ②-	①30件 ②-	①38件 ②100%	①33件 ②100%	①35件 ②100%	
	達成率	100.0	105.7	85.7	108.6	94.3	100.0	
成果指標	検査における薬剤耐性菌(多剤耐性菌)の出現率	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
	実績(見込)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
	達成区分	b	b	b	b	b	b	
決算(予算) 単位: 千円		432	419	187	138	138	244	244

III 事業の評価(平成29年度の業績評価)

活動指標	b	評価	使用実態調査において、調査に加え薬剤の適正使用を指導している。また、多剤耐性菌の出現は認められていないことから、意図した成果をあげている。
成果指標	b		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。  
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(平成31年度に向けた改善等の考え方)

関係との必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input checked="" type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	食の安全・安心確保の観点から検査指導体制を継続する。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 (調査対象菌種や検査方法は、国が指定している。 )		
その他	説明			
見直しの必要性	無	毎年国が実施している技術研修会に参加し、最新の知見及び技術を取得し、正確な検査が実施できている。		

V 見直しの方向(平成31年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明
-------	----

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。